

町職員を募集します

募集職種	採用予定人員	受験資格
一般事務	4人程度	・平成2年4月2日以降に生まれた人 ・学校教育法による大学、短期大学(専門学校等で就学2年以上を含む)、高等学校を卒業した人、又は令和2年3月までに卒業する見込みの人
一般事務(障害者)		・平成2年4月2日以降に生まれた人で障害者手帳をお持ちの人 ・学校教育法による大学、短期大学(専門学校等で就学2年以上を含む)、高等学校を卒業した人、又は令和2年3月までに卒業する見込みの人
保育士・幼稚園教諭	若干名	・昭和58年4月2日以降に生まれた人 ・保育士資格及び幼稚園教諭免許の両方を有する人、又は令和2年3月までに同資格を取得見込みの人
管理栄養士	1人	・昭和58年4月2日以降に生まれた人 ・管理栄養士の免許を有する人、又は令和2年3月までに同資格を取得する見込みの人

日本国籍を有し、地方公務員法第16条に規定する欠格条項に該当しない人

試験日及び内容

【第1次試験】9月22日(日)／教養試験、適性検査
【第2次試験】10月下旬～11月上旬(予定)／作文試験及び面接試験
試験場所●小鹿野町役場・小鹿野庁舎
採用予定時期●令和2年4月1日

応募書類配布●7月1日(月)～
受付期間●7月12日(金)～31日(水)8:30～17:15
 (土・日・祝日は除く。)
 ※郵送の場合は、7月31日(水)の消印まで有効
問合せ●小鹿野庁舎・総務課 ☎75-1221

手話で障がい者を支援する仲間を募集します 「手話奉仕員養成研修 基礎編」

聴覚や音声、言語機能に障がいのある人の社会参加を支援する手話奉仕員の養成講座を開催します。
日時●8月28日(水)～12月9日(月)のおおむね毎週月・水曜日 13:30～15:30(全25回)
場所●秩父市歴史文化伝承館ほか
定員●40人
対象●秩父都市内に居住又は通勤・通学する中学生以上で、手話奉仕員養成研修入門編に相当する講座を修了した人
費用●受講費用は無料、ただしテキストをお持ちでない人はテキスト代3,240円のみ個人負担
内容●手話での会話をするための手話文法や聴覚障害者の理解などを学びます。
 ※前年度までに開催した「手話奉仕員養成研修 入門編」も修了していることで、手話奉仕員養成研修の全課程を修了することになります。
申込&問合せ●8月5日(月)までにお申し込みください。
 保健福祉センター・福祉課
 ☎75-4109 FAX75-4710



国民宿舎両神荘で一緒に働く仲間を広く募集します

仕事内容
 ①フロント係(受付清算、簡単なパソコン入力業務等)
 ②サービス係(レストラン、広間で食事の準備、片付け等)
 ③清掃係 ④調理補助係
給与●規定による時給900円～(その他早出・遅出手当等支給あり)
通勤費●規定により支給
社会保険●勤務時間等により加入
勤務時間
 ①フロント係 7:30～21:00の間(交代制勤務)
 ②サービス係 6:30～21:00の間(交代制勤務)
 ③清掃係 9:00～14:30の間
 ④調理補助係 8:00～17:00の間
 (8:00～13:00、15:00～17:00等)
 ※勤務時間についてはご相談ください。
募集人員●パート、アルバイト／若干名
選考方法●面接
申込&問合せ●市販の履歴書に写真を貼り必要事項を記入のうえ、両神荘へ郵送又は持参してください。後日、面接日時を連絡します。小鹿野町営国民宿舎両神荘 ☎79-1221

秩父広域市町村圏組合職員募集(令和2年度採用)

職種
 ①消防職 6人程度 ②一般事務職 3人程度
 ③技術職(土木、電気、機械) 3人程度
 ※技術職は、民間等職務経験者の募集も行います。
■第1次試験
期日●9月22日(日) **場所**●秩父消防本部
 ※第1次試験合格者は第2次試験を行います。
実施要項・申込書の配布場所
 ①秩父消防本部総務課、各消防分署
 ②及び③秩父広域市町村圏組合事務局管理課(秩父グリーンセンター内)、秩父広域市町村圏組合水道局経営企画課(別所浄水場内)、各水道事務所
 ※いずれも、郵送による請求及びHPからのダウンロードも可能です。

受付期間●7月25日(木)～8月16日(金)
提出先
 ①秩父消防本部総務課
 ②及び③秩父広域市町村圏組合管理課
 ※①消防職は本人持参に限ります。②③は郵送可(期間内必着)。持参の場合は土・日曜日、祝日を除く。
問合せ●①秩父消防本部総務課 ☎21-0120
 ②及び③秩父広域市町村圏組合管理課 ☎23-2242
<http://www.c-kouiki.jp/>



第8回 沢田協力隊員の奥様へのインタビュー



沢田朋輝さんと奥様の由利子さん

小鹿野町の秋といえば、両神山麓花の郷「ダリア園」。そのダリア園に昨年4月より従事する地域おこし協力隊員・沢田朋輝さんの活躍は、ご存知の方も多いかと思います。沢田隊員は、着任前は転勤族として、神奈川の和大市、埼玉の鶴ヶ島市、栃木の足利市、小山市、と転々としていたそうです。今回は、彼を温かく支える奥様、由利子さんへのインタビューです。由利さんは、私より2カ月前に移住した先輩でもあり、当初からずっとお世話になっています。

— ずばり、お2人の出会いを教えてください。 —
 約10年前、当時、夫が働いていた会社の日吉支店に、私がパートで入って知り合いました。そこから間もなく付き合い始め、2年後に結婚しました。
 — 沢田隊員が移住を考え始めた時は、どう思われましたか。 —
 地方に貢献したいという気持ちは前からあったみたいで、本人がやりたいことをやってほしいし、賛成でした。いつかは猫ちゃんを飼えるような場所に引っ越しをしたいねとも話していたので。当時は、責任ある立場で働いていて体調を崩したりと心配だったので、「やっと辞めてくれる」という気持ちの方が強かったかな。お給料は減るけど私たちだけだったら暮らしていけると思いました。
 — 実際、小鹿野に暮らしてみて、いかがですか。 —
 最初は、山が近くて静かだなという印象でした。今は「住めば都」だと感じています。仕事は、両神の薬師の湯でしばらくお世話になった後、現在はダリア園の作業に専念しています。虫が苦手なので確認しながら作業しています(笑)。ダリア園にはもっと多くの人が訪れてほしいし、最終的には支援がなくてもやっける園になってほしい。

— 公私ともに朋輝さんを支えている印象ですが、由利子さんご自身は、小鹿野町でやりたいことなどありますか。 —
 実はいま、アロマのインストラクター取得を目指していて、講座受講のため飯能まで通っています。引っ越したばかりの時に、おがのゲストハウスで加藤優子さんの味噌づくり体験に参加して楽しかったので、自分も身近な人たちに、クラフトとかハンドマッサージとか、癒しを感じてもらえることを提供したいと思うようになりました。

ご主人に付き添って移住した由利子さんが、環境に馴染んで、自分のやりたいことに向けて頑張っているのを知り、嬉しくなりました。
 小鹿野町に移住する理由はそれぞれです。理由やきっかけはともあれ、この町で暮らすことになった全ての方が、楽しく自分らしく過ごせるためにはどうしたらよいか。色んな立場の人が集まってそんなことを話し合える場があったらいいですね。

地域おこし協力隊 本奈代子

問合せ●小鹿野庁舎・総合政策課 ☎75-1238